

4-4-4 事後調査結果の検証

事後調査の結果、全ての項目で基準値（環境基準）未満であり、工事による地下水水質による影響は小さかったと考えられる。

4-5 全体の事後調査結果の総括

全体の事後調査結果の総括は、表4-10に示すとおりである。

全ての事後調査の項目で基準値又は目安となる基準の下回る結果であり、事業による環境への影響は小さかったと考えられる

表4-10 全体の事後調査の総括

事後調査項目	事後調査結果の検証
騒音レベル	事後調査の結果、予測を上回る時間帯はあったが、特定建設作業に伴う騒音の規制基準(85dB)未満であった。環境保全措置を確実に実施したことから、事業による環境への影響は小さかったと考えられる。
濁水(SS)	事後調査の結果は、基準水質を下回った。環境保全措置を実施したことにより、事業による環境への影響は小さかったと考えられる。
地下水位	事後調査の結果、工事中の井戸水位に大きな変化はみられなかった。このことから、工事による地下水位への影響は小さかったと考えられる。
地下水質	事後調査の結果、全ての項目で基準値（環境基準）未満であり、工事による地下水水質による影響は小さかったと考えられる。